1. 基本情報

■事業の担当課	財務部財政課			■担当係	管財係	
■評価事業名称	新型コロナウ	イルス感染症	定対策事業(財	政課)		
■事業開始年度						
■評価事業コード	020100 - 1	67	■会計区分	一般会計		
	■政策	01 子育7	てと医療・福祉の	り充実した明	るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康1	づくりの推進とサ	地域医療の充	実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進				
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		■政	策·業務区分	政策
■法令の根拠区分	法定受託事務	务		•		
■法令等の名称						
■関連計画の名称						
■事 業 の■目的と概要	庁舎及び各種	極設に配置	ぱする感染症対:	策用物品等(D調達	

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 新型コロナ イルス感染 対策事業(原 政課)	· 虚		アルコール消毒液自動噴霧器の購入 248,050円AIサマールカメラの購入55台 14,822,500円
02 飛沫感染予 防パネル設 置事業			飛沫防止アクリルパーテーションの購入 302枚 2.872,815円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				20,975	
人 件 費				820	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				21,795	

4. 評価指標等の状況

指コ・	i標 一ド	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
					_		

1/2

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6の	み
----------------------	---

5. 争俊評価(「姒策」争業					日日 日本	上無時生	
┌■目標達成状況		犬況の分析 1ロナウイルスの感染及	7 (成分	が士を附正		点・課題等 の動向が不透明	
● A. 順調	する	ロアプイル人の恋未及	い心木		712	0) 3) I I J J - I - 122 9)	
○ C. 遅れている							
0. <u>22</u> 10 CU-8	∐						
-1. 直接的な受益者の範囲		├ 2. 国・県・民間との意	竞合関係	系の有無 ――	<u> </u>		
○ 不特定多数に及ぶ		○ 類似の事業はな	il v				
● 特定されるが多数に及ぶ		● 類似の事業はあ	るが競	合はない			
○ 特定少数に限定される		○ 類似の事業があ	り競合	する			
-3. 事業廃止の影響・貢献度		l ─-4. 市民生活•企業活	動へσ)貢献度 一		-5. 事業廃止の影響を受ける受益者	の割合
○ 事業の廃止により重大な問題が する	が発生	○ 市民生活·企業活	舌動の網	推持に不可欠		○ 1. で選択した人の大多数(70%科	度)
事業の廃止により何らかの問題生する		● 市民生活・企業活 貢献している			. 11	● 1. で選択した人の半分程度(50%)	
○ 生する ○ 事業の廃止による問題は想定		○ 市民生活・企業活 は低い	舌動の糸	推持への貢献度		○ 1. で選択した人の少数(30%程度	()
-6. 事業へのニーズの変化		1	度(市)	民意識調査) —		-8. 施策の優先度(市民意識調査)	
⊚ ニーズが高まっている		○ 順位が高い				◉ 順位が高い	
○ ニーズは変わらない		● 順位が中程度				○ 順位が中程度	
○ ニーズが低下している又は合致	対しない	○ 順位が低い				○ 順位が低い	
-9. 他市町村に比較しての優位性。		 10. 実施主体の代替	性 —		— 1 — 1	1. 経済性・効率性の向上 ――――	
○ 先進的またはユニークな事業で	である	○ 民間委託等の拡	充は対	E しい		○ 今以上の効率化や改善は難しい	
● 他と同程度の事業である		● 民間委託等の拡	充が十	分に可能			可能
○ 遅れている事業である		○ 全部委託や実施	主体の)移行が可能		○ 効率化や改善の余地が大きい	
■事業の見直し方策(評価項目2,4	 の補足説	· 明含む)		- ■今後の方向	性 _		
情勢を見極め適切かつ迅速に対応					11	○ 177	
				○ Ⅰ. 拡充		○ Ⅳ. 廃止・休止	
				● Ⅱ.継続		○ V. 完了	
				○ Ⅲ. 縮小			

2/2

1. 基本情報

1 - 465-471 FI +IX							
■事業の担当課	保健福祉部健康増進課 ■				系	健康係	
■評価事業名称	健康診査総務	健康診査総務費					
■事業開始年度							
■評価事業コード	040200 - 0	002	■会計区分	一般会詞	 		
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実した	明	るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と地	地域医療の)充	実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進					
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			政領	€・ 業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務				
■法令等の名称	健康増進法						
■関連計画の名称	北上市健康で	うくりプラン					
■事 業 の	各種健診の受	を診希望者を	適確に把握す	る。各種核	食診(の受診の希望	調査を行う。

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
	検診を受けよ うとする市民	転入者及びがん検診新規対象者に対して、各種がん検診受診希望調査を行う。	未実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	平成30年度 令和1年度		備考
直接事業費	3,377	1,750	1,823	1,824	
人 件 費	790	1,221	577	224	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,167	2,971	2,400	2,048	

4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 受診希率	望調査に対する回答	29.0%	13.3%	未実施	未実施	転入者へのがん検診受診 希望調査

事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

0. 于区时间(: 风水)于木	发生0 000077			
■□無法式供加	達成状況の分析		問題点・課題等	
一■目標達成状況 ———— 	がん検診新規対象料の受診券を送付	象者(40歳になる方)に対し、タ +! ている	無なし。	
○ A. 順調	神の文形がさ込い	10.00.00		
● B. 概ね順調				
○ C. 遅れている				
	<u> </u>			
-1. 直接的な受益者の範囲		・民間との競合関係の有無 -		
○ 不特定多数に及ぶ	● 類似	の事業はない		
○ 特定されるが多数に及ぶ	○ 類似	の事業はあるが競合はない		
● 特定少数に限定される	○ 類似	の事業があり競合する		
				止の影響を受ける受益者の割合
-3. 事業廃止の影響・貢献度		E活·企業活動への貢献度		エの影響を受ける支無者の制造 異択した人の大多数(70%程度)
○ 事業の廃止により重大な問題か する	、完生 ○ 市民生	生活・企業活動の維持に不可		選択した人の人多数(70%程度) 選択した人の半分程度(50%程度)
事業の廃止により何らかの問題生する	が発 │ ・● 市民会	生活・企業活動の維持に一定 している	11112	選択した人の十万程度(30%程度) 選択した人の少数(30%程度)
→ 事業の廃止による問題は想定さ		生活・企業活動の維持への貢 ハ	献度	性がした人の少数(30%性度)
		の改善需要度(市民意識調査	 E)	優先度(市民意識調査) ———
○ ニーズが高まっている	∥ ∫順位	どが高い	●順位が	が高い
○ ニーズは変わらない		が中程度	○順位が	
○ 二一ズが低下している又は合致	にない	iが低い	○順位が	が低い
-9. 他市町村に比較しての優位性 -		主体の代替性	11. 経済性・	効率性の向上
○ 先進的またはユニークな事業で	ある 📗 💿 民間	委託等の拡充は難しい	⑥ 今以上の	の効率化や改善は難しい
● 他と同程度の事業である	○ 民間	委託等の拡充が十分に可能	○ 効率化	や改善を図ることは十分に可能
○ 遅れている事業である	○ 全部	委託や実施主体の移行が可	能	や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4	の補足説明含む)		方向性 ————	
			広 在 ○	Ⅳ. 廃止・休止
		(a) II. #	O	V. 完了
		□ II. #	\circ	*
1		I I U	114 ·	

1. 基本情報

1 - 465-471 FI +IX							
■事業の担当課	保健福祉部份	■担	当係	健康係			
■評価事業名称	胃がん検診						
■事業開始年度							
■評価事業コード	040200 - 0	004	■会計区分	一般:	会計		
	■政策	01 子育7	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と地	地域医療	気の充	実	
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早	期治療	の推進	
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政策	€・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務				
■法令等の名称	健康増進法、	がん対策基	本法				
■関連計画の名称	北上市健康で	うくりプラン					
■事 業 の	胃がんを早期	発見し、早期	期治療に結びつ	ける。	問診・胃	胃透視検査、 等	事後管理等

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 胃がん検診	40歳以上の市 民		集団検診実施日数: 78日。対象者 18,360人、受診者3,708人。受診率 20.2%。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	26,538	25,943	28,827	22,708	
人 件 費	3,380	3,077	3,892	4,400	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	29,918	29,020	32,719	27,108	

4. 評価指標等の状況

10.1.1104	115124 41 02 17(1)					
指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 胃カ	がん検診年間検診日数	94日間	78日間	77日間	78日間	
03 胃カ	がん検診受診率	27.0%	26.4%	26.3%	20.19%	受診者÷対象者×100
04 単位	立当たりコスト	6.06千円	5.97千円	6.67千円	7.31千円	フルコスト÷受診者数

事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

⊢■ 目標達成状況 ————	達成物	犬況の分析		問題	題点•課題等	
一■日保達成状况 ————	胃がA	しを早期発見し、早期治 必要な事業である。希望	療に結びつけるた	受	診率の低下(感染症のため)が見られる。	
○ A. 順調	受診	が安な争来である。布里 学を送付している。	白、 对			
● B. 概ね順調						
○ C. 遅れている						
1. 直接的な受益者の範囲 ―――		┌2. 国・県・民間との意	竞合関係の有無 ──		ī	
● 不特定多数に及ぶ		● 類似の事業はな	()			
○ 特定されるが多数に及ぶ		○ 類似の事業はあ	るが競合はない			
○ 特定少数に限定される		○ 類似の事業があ	り競合する			
-3. 事業廃止の影響・貢献度		' ├-4. 市民生活•企業活	動への貢献度		』 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割	訓合
事業の廃止により重大な問題がする	・発生	● 市民生活・企業活動の維持に不可欠			● 1. で選択した人の大多数(70%程度)
			5動の維持に一定程)	茰	○ 1. で選択した人の半分程度(50%程	度)
事業の廃止により何らかの問題 生する 事業の廃止による問題は想定る		■ 貢献している ■ 市民生活・企業活 は低い	動の維持への貢献	隻	○ 1. で選択した人の少数(30%程度)	
() 手来が発生による問題は思えて	.40.00]	_
- 6. 事業へのニーズの変化		7. 施策の改善需要 	度(市民意識調査) =		8. 施策の優先度(市民意識調査) 	
○ ニーズが高まっている		○ 順位が高い			◉ 順位が高い	
◉ ニーズは変わらない		● 順位が中程度			○ 順位が中程度	
○ 二一ズが低下している又は合致	にない	○ 順位が低い			○ 順位が低い	
-9. 他市町村に比較しての優位性 -		 10. 実施主体の代替	性 ———		- 11. 経済性・効率性の向上	
○ 先進的またはユニークな事業で	ある	● 民間委託等の拡	充は難しい		● 今以上の効率化や改善は難しい	
◉ 他と同程度の事業である		○ 民間委託等の拡	充が十分に可能		○ 効率化や改善を図ることは十分に可能	能
○ 遅れている事業である		○ 全部委託や実施	主体の移行が可能		○ 効率化や改善の余地が大きい	
■事業の見直し方策(評価項目2,4	ーーーー の補足説	 明含む)	┌■今後の方向	5 M		
						ĺ
			○ I. 拡充		○ Ⅳ. 廃止・休止	
			● II.継続		○ V. 完了	
			○ Ⅲ. 縮小			

1. 基本情報

1. 磁件 情報									
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係							
■評価事業名称	大腸がん検診								
■事業開始年度									
■評価事業コード	040200 - 0	005	■会計区分	一般:	会計				
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と均	地域医療	の充.	実			
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早	朝治療	の推進			
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政策	策·業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務						
■法令等の名称	健康増進法、	がん予防重	点教育及びがん	ん検診	実施の	ための指針			
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン								
■事 業 の	大腸がんを早	Ϋ期発見し、早	早期治療に結び	つける	。問診	•便潜血検査、	事後管理等		

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 大腸がん検診	40歳以上の市 民	40歳以上の市民を対象に、便潜血検査による大腸がん検診を市内34医療機関で実施する。	市内37医療機関による個別検診。対象 者21,910人、受診者5,554人。受診率 25.3%。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	14,170	13,656	13,534	12,421	
人 件 費	3,075	3,692	3,130	4,158	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	17,245	17,348	16,664	16,579	

4. 評価指標等の状況

指コー	標指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
	大腸がん検診受付日数(公民 館)	94日間	78日間	77日間	78日間	胃がん検診と同時に検査容 器交付の受付をしているた
						め、胃がん検診の実施日が 実績値となっている。なお、 個別医療機関での受付日 数は記載していない。
02	大腸がん検診受診率	31.1%	31.1%	30.8%	25.3%	受診者÷対象者数×100
'						

03 単位当たりコスト	2.58千円	2.57千円	2.49千円	2.98千円	フルコスト÷受診者数
5. 事後評価(「政策」事業類	[型5•6のみ)				
■目標達成状況	達成状況の分大腸がんを早ために必要な	期発見し、早期治	療に結びつける	問題点・課題等受診率の低下	「感染症のため)が見られる
1. 直接的な受益者の範囲● 不特定多数に及ぶ○ 特定されるが多数に及ぶ○ 特定少数に限定される	(a)	・県・民間との競行 領似の事業はない 類似の事業はある 類似の事業があり	が競合はない		
-3. 事業廃止の影響・貢献度 ・事業の廃止により重大な問題が多する ・事業の廃止により何らかの問題が発生する ・事業の廃止により何らかの問題が発生する ・事業の廃止による問題は想定され	発生 ● 市	「民生活・企業活」 『献している	かの貢献度 動の維持に不可欠 動の維持に一定程 動の維持への貢献	⊚ 1. 7	系止の影響を受ける受益者 透探した人の大多数(70%程 透探した人の半分程度(50 透探した人の少数(30%程度
-6. 事業へのニーズの変化 ○ ニーズが高まっている ⑥ ニーズは変わらない ○ ニーズが低下している又は合致し	•	施策の改善需要度 順位が高い 順位が中程度 順位が低い	(市民意識調査) -	● 順位	が中程度
−9. 他市町村に比較しての優位性	55 ⊙ ○	実施主体の代替性 民間委託等の拡充 民間委託等の拡充 全部委託や実施主	とは難しい	● 今以上	・効率性の向上 の効率化や改善は難しい 、や改善を図ることは十分に とや改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の	補足説明含む)		- ■今後の方向 - 1. 拡充		∖Ⅳ. 廃止・休止

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)	Г	■今後の方向性 -		
		○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止	
		■ II.継続	○ Ⅴ. 完了	
		○ Ⅲ. 縮小		
	- -			_

1. 基本情報

1. 磁外闸机									
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係							
■評価事業名称	子宮がん検診	子宮がん検診							
■事業開始年度									
■評価事業コード	040200 - 0	006	■会計区分	一般会	計				
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と均	地域医療	の充	実			
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期	月治療	の推進			
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政領	策·業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定	どめのないも	の						
■法令等の名称	健康増進法、	がん予防重	点健康教育及	びがん楨	診実	施のための指	針		
■関連計画の名称	北上市健康づくりプラン								
■事 業 の			をするがんを早り お・内診・頸部				つける。(集団検診・ 管理等		

2. 細事業の活動実績情報

細事		個事業 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	子宮7	がん検	20歳以上の女 性	20歳以上の市民を対象に、子宮頸部の 検体採取による細胞診検査を実施す る。集団検診及び市内3箇所の医療機 関で実施。	集団検診16日実施。個別検診は市内3 か所の医療機関で実施。対象者8,943 人、受診者2,420人。受診率27.1%。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	16,565	15,424	16,259	13,743	
人 件 費	2,312	3,077	2,901	2,940	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	18,877	18,501	19,160	16,683	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 子宮が	ん検診年間受診日数	32日	28日	21日	16日	検診委託業者との日程調整及び各検診との日程、会
						場の調整により実績値と なった。個別医療機関での 実施は日数に含まれていない。
03 子宮頸 受診率	部及び体部がん検診	36.7%	35.7%	36.6%	27.1%	(頸部受診者数)÷(頸部対象者数)×100

04 単位当たりコスト	5.21	千円	5.52千円	5.	47千円	6.89千円	フルコスト÷受診者数
5. 事後評価(「政策」事	業類型5•(8のみ)					
┌■目標達成状況		犬沢の分析	日知込床に	-4+75-	2147+ W	問題点・課題等	
│		で年期充足し 要な事業。	ン、早期治療に	_ 祚 ひ ` .	フけるにめ	文診学の低下(感染症のため)が見られる
● B. 概ね順調							
○ C. 遅れている							
1. 直接的な受益者の範囲 ――		·─2. 国·県	・民間との競行	合関係	の有無 ――	<u> </u>	
○ 不特定多数に及ぶ		◎ 類似	の事業はない	١			
○ 特定されるが多数に及ぶ		_	の事業はある		合はない		
○ 特定少数に限定される		_	の事業があり				
3. 事業廃止の影響・貢献度 一		─ 4. 市民 ^会	生活·企業活動	かへの)	貢献度 一		を止の影響を受ける受益者(
● 事業の廃止により重大な問題 する	題が発生	● 市民	生活・企業活動	動の維	持に不可欠	~	選択した人の大多数(70%程
○ 事業の廃止により何らかの 生する			生活・企業活動	動の維	持に一定程度	. `	選択した人の半分程度(50%
● 事業の廃止による問題は想			生活·企業活動	動の維	持への貢献度	: 01.6	選択した人の少数(30%程度
6. 事業へのニーズの変化 ―		l———— —7. 施策	の改善需要度	₹(市民	意識調査) —	——□□ ——□□8. 施策 <i>0</i>)優先度(市民意識調査)
○ ニーズが高まっている		○順位	立が高い			● 順位	が高い
◉ ニーズは変わらない		● 順信	が中程度			○ 順位	が中程度
○ ニーズが低下している又はお	含致しない	○ 順位	立が低い			○ 順位	が低い
9. 他市町村に比較しての優位性	± ——	l ├─10. 実施	主体の代替性	ŧ —		' 11. 経済性	・効率性の向上 ――――
○ 先進的またはユニークな事業	業である	● 民間	委託等の拡充	たは難し	しい	│	の効率化や改善は難しい
○ 他と同程度の事業である		○ 民間	委託等の拡充	たが十分	分に可能	○ 効率化	や改善を図ることは十分に
○ 遅れている事業である		○ 全部	委託や実施主	上体の	移行が可能	○ 効率化	や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2		[明会よ:)					
- テス・ソル匠 O J 太 (n) 次口 4	-, . •> Im ACDL	7,407		Γ'	■今後の方向	性 ———	
					○ I. 拡充	0	Ⅳ. 廃止・休止
					○ Ⅱ 継続		ひ 空マ

争来の元直し万束(計画項目2,4の補足証明目4)	┌■今後の方向性 ―		
	○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止·休止	

1. 基本情報

1 - 465-471 FI +IX								
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係						
■評価事業名称	乳がん検診							
■事業開始年度								
■評価事業コード	040200 - 0	007	■会計区分	一般会計				
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実した明	月るく健やかなま	まちづくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康	づくりの推進とサ	地域医療の	充実			
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期治	療の推進			
■事業の類型	05 ソフト事	05 ソフト事業(任意) ■政策·業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令に特に定	どめのないも	の	•				
■法令等の名称	健康増進法、	がん予防重	点健康教育及(びがん検診	実施のための指	自針		
■関連計画の名称	北上市健康で	北上市健康づくりプラン						
■事 業 の	乳がんを早期 及、事後管理		期治療に結びつ	ける。問診	・マンモグラフィ	、自己検診法の普		

2. 細事業の活動実績情報

細事	細事業 細事業 コード 名称 事業の対象		令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	乳がん検診	40歳以上の女 性	40歳以上の市民を対象に、マンモグラフィ検査及び超音波検査による乳がん検診を、集団検診にて27日実施する。	集団検診25日実施。対象者6,590人、受診者2,108人。受診率32.0%。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	18,467	16,119	16,160	17,624	
人 件 費	4,973	3,190	3,007	2,940	
その他 (公債費・減価償却費等)					
フルコスト	23,440	19,309	19,167	20,564	

4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明	
01 乳がん	食診年間受診日数	32日	28日	25日	25日	検診委託業者との日程調整及び各検診との日程、会場の調整により実績値と	
場の調整なった。							
03 乳がん村	食診受診率	45.7%	40.4%	39.5%	32.0%	受診者÷対象者×100	
04 単位当力	こりコスト	7.79千円	6.67千円	6.58千円	9.75千円	フルコスト÷受診者数	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

□■ 目標達成状況 ————	達成状況の分析		問題点·課題等		
	がんを早期発見し、早期治療に必要な事業。	寮に結びつけるため	受診率の低下(感染症のため)が見られる。		
○ A. 順調	1000女孩手来。				
● B. 概ね順調					
○ C. 遅れている					
└────────────────────────────────────	- 	競合関係の有無 ――			
	● 類似の事業はな	ない			
○ 特定されるが多数に及ぶ	○類似の事業は				
○ 特定少数に限定される	○ 類似の事業がる	あり競合する			
 	────────────────────────────────────	舌動への貢献度 -	 		
事業の廃止により重大な問題が する	·発生 ● 市民生活·企業	活動の維持に不可欠	● 1. で選択した人の大多数(70%程度)		
事業の廃止により何らかの問題 生する		活動の維持に一定程度	•		
○ 生する ○ 事業の廃止による問題は想定さ	□ ○ 古足生汗•企業・	活動の維持への貢献度	○ 1. で選択した人の少数(30%程度)		
		要度(市民意識調査) -	──		
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い		◉ 順位が高い		
⊚ ニーズは変わらない	● 順位が中程度		○ 順位が中程度		
○ ニーズが低下している又は合致	しない ○ 順位が低い		○ 順位が低い		
-9. 他市町村に比較しての優位性 -	 	替性 ————	'		
○ 先進的またはユニークな事業で	ある ⑥ 民間委託等の抗	広充は難しい	● 今以上の効率化や改善は難しい		
	○ 民間委託等の抗	広充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能		
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施	施主体の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい		
■事業の見直し方策(評価項目2,46	 D補足説明含む)	_ □■今後の方向	144		
		○ Ⅰ. 拡充	○ IV. 廃止·休止		
		● Ⅱ. 継続	○ Ⅴ. 完了		

1. 基本情報

1. 基件情報							
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係					
■評価事業名称	成人歯科保優	或人歯科保健事業					
■事業開始年度	平成7年度						
■評価事業コード	040200 - (010	■会計区分	一般会計	t		
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	り充実した	明るく健やかなる	まちづくり	
■総合計画での	■基本施策	03 健康	づくりの推進とサ	地域医療の	充実		
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期流	台療の推進		
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		-	政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務	·			
■法令等の名称	健康増進法	第19条					
■関連計画の名称	北上市健康で	うくりプラン					
■事 業 の 目的と概要			自分の歯で食事 保健事業委員会		うにするため。)	成人歯科検診(40	

2. 細事業の活動実績情報

定達する市民	別検診:市内歯科医院委託 実施期間:	対象者:1,159人 受診者:297人受診 率:25.6% 歯科保健事業委員会の開催:1回

3. 投入コスト情報

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	766	731	837	1,024	
人 件 費	916	413	466	1,468	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,682	1,144	1,303	2,492	

4 評価指揮等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 成人歯科	検診受診率	16.9%	16.0%	18.6%	25.6%	対象者÷受診者×100
02 要医療者	がの治療率	82.2%	70.9%	77.6%	76.0%	要医療者÷治療完了者 ×100
03 重度歯居	病者の割合	26.0%	15.9%	18.0%	17.2%	重度歯周病者÷受診者 ×100

1/2

/一下口 和 2	十 及尹未」			事務事未争後計画ンー「「中和2年及事未」								
				04 検診受診者一人あたりコス	スト 7.54귀	-円	5.52千円	5.34千円	8.39千円	フルコスト÷受診者		
■担	旦当係 健康係											
				5. 事後評価(「政策」事業	類型5-6	ற み)						
\= 	1.4.=1			or A bell lim (seeded 4 see		況の分析	ŕ		問題点・課題等			
	と会計 11. 5 88 7 7 7 7 1 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	- t - 201		□■目標達成状況	運動、成.	人歯科検診(40歳)、歯科保健指		に届いていない。			
	これの一切	きちつくり		○ A. 順調	得。图7	斗保健争	業委員会を開催	している。				
)推進と地域医				● B. 概ね順調								
、早期発見、早	型期治療の推進			○ C. 遅れている								
	■政策·業務区分	政策										
事務			_1.	直接的な受益者の範囲 ―――	Ī	-2. 国•归	県・民間との競合	関係の有無 ――				
			•	不特定多数に及ぶ		● 類(以の事業はない					
			~	特定されるが多数に及ぶ		\circ	以の事業はあるが					
			C) 特定少数に限定される		○ 類f	以の事業があり競	竞合する				
歩 ぶ会声ナス:	キストニニナスナール)	rt 1 振刊 1 	<u> </u>	事業廃止の影響・貢献度 ――		-4. 市民		への貢献度 -	 	廃止の影響を受ける受益者の割		
圏で良事をでる 業委員会の開	きるようにするため。)]催。	队入图件快衫(40		事業の廃止により重大な問題が	が発生			の維持に不可欠	⊚ 1. 7	選択した人の大多数(70%程度)		
								の維持に一定程度	€ 01.7	選択した人の半分程度(50%程度		
				事業の廃止により何らかの問題 生する			ぱしている ≧生活・企業活動	の維持への貢献度	_ O 1. 7	選択した人の少数(30%程度)		
			C) 事業の廃止による問題は想定	されない	は個						
	A.T. a. b.		- 6.	事業へのニーズの変化 ――		-7. 施領	後の改善需要度(市民意識調査) —	8. 施策(の優先度(市民意識調査) ――		
事業計画		度事業量実績	C) ニーズが高まっている		○順	位が高い		⑥ 順位	が高い		
歳に達する者 (院委託 実施期)	間: 率:25.6% 歯科保	受診者:297人受診 発健事業委員会の開	•) ニーズは変わらない		● 順	位が中程度		○ 順位	が中程度		
建事業委員会の	開 催:1回		С) ニーズが低下している又は合致	対しない	○順	位が低い		○ 順位	が低い		
			_9.	他市町村に比較しての優位性 -		-10. 実施	施主体の代替性		11. 経済性	・効率性の向上		
			С	先進的またはユニークな事業で	である	◉ 民間	間委託等の拡充	は難しい	⑥ 今以上	の効率化や改善は難しい		
	(単位:千円)		•	他と同程度の事業である			間委託等の拡充	が十分に可能	○ 効率化	,や改善を図ることは十分に可能		
令和1年度	令和2年度	備考	C) 遅れている事業である		○全部	部委託や実施主	本の移行が可能	○効率化	や改善の余地が大きい		
83	37 1,024			事業の見直し方策(評価項目2,4	の補足説明	(含む)		┌■今後の方向	1/4			
46	66 1,468							○ Ⅰ. 拡充)Ⅳ. 廃止•休止		
								● Ⅱ. 継続) V. 完了		
1,30	03 2,492							○ Ⅲ. 縮小		, ,		
.,00	2, 102		<u> </u>									

1. 基本情報

1. 磁件情報									
■事業の担当課	保健福祉部優	建康増進課		■担当付	係	健康係			
■評価事業名称	子どもの歯科	子どもの歯科保健事業							
■事業開始年度	平成15年度								
■評価事業コード	040200 - 0	040200 - 021 ■会計区分 一般会計							
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実した	:明る	るく健やかなま	きちづくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	策 03 健康づくりの推進と地域医療の充実							
	■施策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進								
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			政領	策·業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務						
■法令等の名称	地域保健法/	地域保健対	策の推進に関す	ける基本的	りな打	旨針			
■関連計画の名称	北上市健康で	北上市健康づくりプラン							
■事 業 の			図り、一生涯健 重動」を推進する		で過	ごせる基礎作	らいをする。家族の ロ		

2. 細事業の活動実績情報

細事		事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	子どもの歯科 保健事業	幼児・小中学 生	ぴかぴか教室:年6回実施 はみがき教室:年12回実施 未就学児とその保護 者への歯科指導:随時実施 小、中学校 歯科指導:随時実施	ぴかぴか教室:6回54組108人 はみが き教室:11回39組78人 未就学児とその 保護者への歯科指導:11回 子298人 親 85人 小、中学校歯科指導:20回1,313 人 総指導人数:1,882人
02	ぴかぴか教 室	要フォローの 2.3歳児	廃止(他事業に統合済み)	廃止(他事業に統合済み)
	歯科保健指 導事業	市民	廃止(他事業に統合済み)	廃止(他事業に統合済み)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	1,736	1,770	217	527	
人 件 費	4,307	2,029	2,090	3,696	
その他(公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	6,043	3,799	2,307	4,223	

4. 評価指標等の状況

指	標指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01	ぴかぴか教室の参加者数	33組66人	48組96人	48組96人	54組108人	実数
02	3歳6か月児健診におけるむし 歯のない子の割合	78.3%	78.5%	80.7%	83.6%	3歳6か月児健診時むし歯 のない子の人数÷3歳6か
						一月児健診受診児総数×100
03	参加者一人当たりコスト	183.1千円	79.1千円	48.1千円	39.1千円	フルコスト÷総指導人数
04	小学校6年生のむし歯のない 子の割合	67.8%	73.6%	72.0%	71.8%	小学校6年生のむし歯のない子の人数÷学校検診受
	10000					診者数×100

03	参加者一人当たりコスト	183.1千円	79.1千円	48.1千円	39.1千円	フルコスト÷総指導人数		
04	小学校6年生のむし歯のない 子の割合	67.8%	73.6%	72.0%	71.8%	小学校6年生のむし歯の い子の人数÷学校検診5 診者数×100		
_ -	日海泽中作 —————	達成状況の分析	講座を開催した	•	問題点・課題等 感染症対策が 記			
	B. 概ね順調C. 遅れている							
直接	的な受益者の範囲	2. 国•	県・民間との競行	合関係の有無 ―				
) 不特	寺定多数に及ぶ	□□類	似の事業はない	١				
● 特定	Eされるが多数に及ぶ	● 類	● 類似の事業はあるが競合はない					
)特定	足少数に限定される	□□□	似の事業があり	競合する				
事業	廃止の影響・貢献度 ―――	——□□ —————————————————————————————————		かの貢献度		廃止の影響を受ける受益者の		
事業	と の廃止により重大な問題が発	生 ○市」	民生活・企業活	動の維持に不可欠	○ 1. で	選択した人の大多数(70%程度		
	o 美の廃止により何らかの問題が 「る	発 ● 市月	民生活・企業活! 献している	動の維持に一定程	/X -	選択した人の半分程度(50%程度)		
	っ その廃止による問題は想定され	た、 一〇 市月		動の維持への貢献	度 01.で	選択した人の少数(30%程度)		
事業	へのニーズの変化 ―――	——l———· —— —7. 施:	策の改善需要度	(市民意識調査)	——□□—————————————————————————————————	D優先度(市民意識調査) —		
) =-	-ズが高まっている		位が高い		● 順位	が高い		
- •) =-	-ズは変わらない		位が中程度		│ │ │ 順位	○ ○		
) = -	-ズが低下している又は合致した	まい	位が低い		○順位	が低い		
他市	町村に比較しての優位性 ――	—— ——— —— -10. 実	施主体の代替性		——"[———— ———11. 経済性	・効率性の向上 ――――		
) 先進	生的またはユニークな事業であ る	る 。民	間委託等の拡充	とは難しい	● 今以上	の効率化や改善は難しい		
● 他と	:同程度の事業である	○民	間委託等の拡充	Eが十分に可能	- 効率化	や改善を図ることは十分に可		
_ 遅∤	1ている事業である	○全	部委託や実施主	E体の移行が可能	○ 効率化	や改善の余地が大きい		
事業の		 足説明含む)		- 5 // = 1 :				
				-■今後の方				
				○ I. 拡充)Ⅳ. 廃止・休止		
				● Ⅱ. 継続) Ⅴ. 完了		
				│	١			

1. 基本情報

1 - 45 45 1FI HK				_					
■事業の担当課	保健福祉部份	康増進課		■担	当係	健康係			
■評価事業名称	健康診査事業	(生活保護))						
■事業開始年度	平成20年度	P成20年度							
■評価事業コード	040200 - 0	040200 - 088 ■会計区分 一般会計							
	■政策	01 子育7	てと医療・福祉の	の充実し	した明る	るく健やかなま	きづくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	本施策 03 健康づくりの推進と地域医療の充実							
	■施策	策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進							
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政領	€・業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令の努力義	義務(自治事	務)						
■法令等の名称	健康増進法								
■関連計画の名称									
■事 業 の■目的と概要	者)を対象にす	5が特定検診	持定健診のうち 。と同じ項目で(・健康診査を行	建診を	保険に 行う。40	加入していな)歳以上の生活	い人(生活保護受給 舌保護受給者に対		

2. 細事業の活動実績情報

細事		事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	健康診査事業(生活保護)	生活保護を受けている40歳以上の市民	40歳以上の生活保護受給者を対象に、 健康診査を集団健診会場で61日間実施 する。	対象者559人受診者41人受診率7.3%。 集団健診54日間実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	538	598	385	342	
人 件 費	916	845	381	373	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,454	1,443	766	715	

4. 評価指標等の状況

10 1 100 100 1	木サップルル					
指標 コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 年間健調	诊日数	67日	67日	67日	61日	
03 健診の	受診率	9.8%	9.2%	7.3%	7.3%	受診者÷健診対象者×100
04 コスト		21.7千円	21.5千円	11.43千円	11.72千円	フルコスト:健診日数

	05 コスト	25.5千円	27.2千円	18.68∃	千円	17.43千円	フルコスト÷受診者数
	5. 事後評価(「政策」事業	頃型5・6のみ)					
	■目標達成状況	達成状況の分 ・生活保護受 供することが・	給者の健康診断を	そ受ける機会		問題点・課題等	
	┌1. 直接的な受益者の範囲 ───		・県・民間との競領	合関係の有	」」 無		
	○ 不特定多数に及ぶ◎ 特定されるが多数に及ぶ○ 特定少数に限定される	•	類似の事業はない 類似の事業はある 類似の事業があり	が競合はな	Il'		
護受給 皆に対	-3. 事業廃止の影響・貢献度 -3. 事業廃止の影響・貢献度 -3. 事業の廃止により重大な問題がする -3. 事業の廃止により可らかの問題 -4. 事業の廃止により同らかの問題 -4. 事業の廃止による問題は想定さ	発生 一	民生活・企業活動 万民生活・企業活動 可民生活・企業活動 可能している 万民生活・企業活動 は低い	動の維持に 動の維持に	不可欠 一定程度	○ 1. で) ⑥ 1. で)	止の影響を受ける受益者の割 選択した人の大多数(70%程度) 選択した人の半分程度(50%程度 選択した人の少数(30%程度)
7.3%。	6. 事業へのニーズの変化○ニーズが高まっている⑥ ニーズは変わらない○ニーズが低下している又は合致	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	施策の改善需要度 順位が高い 順位が中程度 順位が低い	(市民意識	調査)	- 8. 施策の ・ 順位な ・ 順位な ・ 順位な	が中程度
		5	実施主体の代替性 民間委託等の拡充 民間委託等の拡充	に難しい	可能	⑥ 今以上(効率性の向上
考	○ 遅れている事業である		全部委託や実施主	体の移行が	が可能	○ 効率化	や改善の余地が大きい
	■事業の見直し方策(評価項目2.40	の補足説明含む)			後の方向性		W & L. At L
					I . 拡充 Ⅱ . 継続	\circ	Ⅳ. 廃止・休止 V. 完了
				_		\circ	

┌■今後の方向性 ―	
○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止
● Ⅱ. 継続	○ V. 完了
○ Ⅲ. 縮小	
	I. 拡充● II. 継続

1. 基本情報

1. 本个門和									
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係							
■評価事業名称	前立腺がん核	前立腺がん検診事業							
■事業開始年度									
■評価事業コード	040200 - 0	090	■会計区分	一般会	計				
	■政策	01 子育7	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり		
■総合計画での	■基本施策	03 健康1	づくりの推進とり	地域医療	の充:	実			
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期	胡治療	の推進			
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政領	策・業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務						
■法令等の名称	健康増進法、	がん対策基	本法及び国が	がん対領	美基本	計画に定める	基本方針		
■関連計画の名称									
■事 業 の	がん対策基本 びつける。H2			食診を行	う。 前	立腺がんを発	8見し、早期治療に結		

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 前立腺がん 検診事業	満50歳以上の 男性で検査を 希望する者が 対象	50歳以上の男性を対象に、PSA検査による前立腺がん検診を集団健診及び市内27ヵ所の医療機関で実施する。	対象者8,015人受診者2,938人受診率36.7%集団健診54日間実施個別健診27 医療機関実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	6,717	6,229	6,573	6,249	
人 件 費	2,213	1,768	1,601	2,533	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	8,930	7,997	8,174	8,782	

4 評価指揮等の共況

	11878 47 07 100 200					
指標 コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 前立数	な腺がん検診年間検診日	67日	67日間	67日間	54日間	
03 前立	立腺がん検診の受診率	45.6%	45.0%	43.4%	41.5%	受診者÷検診対象者×100
04 コス	K +	133.3千円	119.4千円	122千円	162.6千円	フルコスト:検診日数

05 コスト	2.7千1	円	2.5千円		2.4千円	2.9千円	フルコスト÷受診者数
5. 事後評価(「政策」事業	類型5-60	ን み)					
一■目標達成状況 ————	・市民に		ん検診の受診	彡機 全		問題点・課題等	
○ A. 順調	ことがて	きた。					
● B. 概ね順調							
○ C. 遅れている							
-1. 直接的な受益者の範囲		-2. 国•県	・民間との競行	合関係	系の有無 ――		
○ 不特定多数に及ぶ		⊚ 類似	の事業はない	`			
● 特定されるが多数に及ぶ		○ 類似	の事業はある	が競	合はない		
○ 特定少数に限定される		○ 類似	の事業があり	競合	する		
-3. 事業廃止の影響・貢献度		-4. 市民生	上活•企業活動	カへσ.)貢献度 一	── ──────5. 事業廃』 ┃	上の影響を受ける受益者の割
○ 事業の廃止により重大な問題か する	・ 発生	○ 市民:	生活・企業活動	動の約	維持に不可欠		択した人の大多数(70%程度)
● 事業の廃止により何らかの問題 ● 生する		● 市民:	生活・企業活動 している	動の約	維持に一定程度		択した人の半分程度(50%程度
○ 生する ○ 事業の廃止による問題は想定さ			生活・企業活動	動の糸	推持への貢献度	() 1. で選	択した人の少数(30%程度)
-6. 事業へのニーズの変化		-7. 施策	の改善需要度	[市]	民意識調査)—	□ 	憂先度(市民意識調査) ——
○ ニーズが高まっている		○ 順位	が高い			● 順位が	高い
⊚ ニーズは変わらない		◉ 順位	が中程度			○ 順位が	中程度
○ ニーズが低下している又は合致	はない	○ 順位	が低い			○ 順位が	低い
-9. 他市町村に比較しての優位性 -	 	-10. 実施:	主体の代替性	-		11. 経済性·対	効率性の向上
○ 先進的またはユニークな事業で	ある	◉ 民間	委託等の拡充	度は新	ŧ∟い	● 今以上の	効率化や改善は難しい
● 他と同程度の事業である		○ 民間	委託等の拡充	とが十	-分に可能	○ 効率化や	改善を図ることは十分に可能
○ 遅れている事業である		○ 全部	委託や実施主	连体σ)移行が可能	○ 効率化や	改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4)	の補足説明	含む)			-■今後の方向		
					○ I. 拡充	\cap I	V. 廃止•休止

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)	┌■今	後の方向性 -			
	0	I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止	-•休止	
	•	Ⅱ.継続	○ Ⅴ. 完了	•	
		Ⅲ. 縮小			

1. 基本情報

1. 磁外间积									
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係							
■評価事業名称	肝炎ウイルス	肝炎ウイルス検診事業							
■事業開始年度									
■評価事業コード	040200 - (091	■会計区分	一般会計					
	■政策	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり							
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	■基本施策 03 健康づくりの推進と地域医療の充実							
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期治	寮の推進				
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		■政	「策・業務区分	政策			
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務	•					
■法令等の名称	健康増進法に	より国が定	める肝炎ウィル	ス検診要領					
■関連計画の名称									
■事 業 の	て保健指導を軽減し進行を	受け、医療を	することにより、 機関を受診する ことを目的とする ・年齢)節目検診	ことによりF	炎による健康	認識し、必要に応じ 障害を回避し、症状を HBS抗原検査につい の検診を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 肝炎ウイルン 健診事業	ス 5歳刻み年齢 及び41歳以上 で平成14年度 以降	40歳から79歳までの市民を対象に血液 検査による肝炎ウイルス検診を集団検 診及び市内27医療機関で実施する。	対象者7.994人受診者771人受診率 9.6%集団健診54日間実施、個別健診 27医療機関実施。

3. 投入コスト情報

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	2,965	3,560	3,291	2,933	
人 件 費	1,908	1,691	1,601	1,639	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,873	5,251	4,892	4,572	

4. 評価指標等の状況

指標 □ド	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
1 肝炎ウ 日数	イルス検診年間検診	67日	67日	67日	61日	特定健診と同じ。
3 肝炎ウ	イルス検診の受診率	9.3%	11.0%	10.7%	9.6	受診者÷対象者×100
4 コスト		72.7千円	78.4千円	73千円	74.9千円	フルコスト÷検診日数

1/2

支争未」			争伤争未争	では一世ノ	- ト [中 和 2 平]	支尹未」	
		05 コスト	6千円	5.5千円	5.5千円	5.9千円	フルコスト÷受診者数
係健康係							
		5. 事後評価(「政策」事業	美類型5-6のみ)				
計		⊢■目標達成状況 ————	達成状況の分			問題点·課題等	
こ明るく健やかな	まちづくり	_ A. 順調	・市民に肝炎ウム 供することがて	7イルス検査を受診 きた。	ジする機会を提		
)充実		● B. 概ね順調					
台療の推進		○ C. 遅れている					
政策•業務区分	政策		_				
		- 1. 直接的な受益者の範囲		・県・民間との競合	関係の有無	Ī	
————— 領		○ 不特定多数に及ぶ	O #	傾の事業はない			
		● 特定されるが多数に及ぶ	⊚ ∜	傾の事業はあるが	が競合はない		
		○ 特定少数に限定される	○ [★]	類似の事業があり 競	竞合する		
して成込の仕事:	を認識し、必要に応じ			 民生活·企業活動·	への貢献度 ―	—」 ——─5. 事業廃』	この影響を受ける受益者の割得
肝炎による健康	障害を回避し、症状を	○ 事業の廃止により重大な問題 する	が発生 🕒 市	民生活 企業活動	の維持に不可欠	● 1. で選	択した人の大多数(70%程度)
ミウィルス検査、 以上で未受診者	HBS抗原検査につい 者の検診を行う。	● 事業の廃止により何らかの問題 ● 生する		民生活・企業活動 献している	の維持に一定程度	-	択した人の半分程度(50%程度
		● 生する ○ 事業の廃止による問題は想定	キャセン 一〇市	民生活·企業活動	の維持への貢献度	○ 1. で選	択した人の少数(30%程度)
			16	低い	*************************************	0. #5#5.0	[
令和 2 年	度事業量実績	- 6. 事業へのニーズの変化		策の改善需要度(·中氏思識調查)——		₹先度(市民意識調査) ———
対象者7,994人受	診者771人受診率	○ ニーズが高まっている○ ニーズは変わらない		順位が高い 原位が出来		● 順位が	
9.6%集団健診54 27医療機関実施。	日間実施、個別健診	● ==スは変わらない○ ==ズが低下している又は合う		順位が中程度 順位が低い		○ 順位が	
				(4) 12 73 7 12 6 0 -			
		-9. 他市町村に比較しての優位性	10. 実	施主体の代替性		11. 経済性·効	率性の向上
		○ 先進的またはユニークな事業	である 📗 🕞 🗗	間委託等の拡充	は難しい	● 今以上の	効率化や改善は難しい
(単位:千円)		● 他と同程度の事業である		間委託等の拡充			改善を図ることは十分に可能
令和2年度	備考	○ 遅れている事業である		部委託や実施主	体の移行が可能	○ 効率化や	改善の余地が大きい
2,933		■事業の見直し方策(評価項目2,4	4の補足説明含む)		┌■今後の方向性		
1,639					○ Ⅰ. 拡充		7. 廃止•休止
					● Ⅱ. 継続	0	7. 完了
4.572					○ Ⅲ. 縮小	J .	
1,072							

1. 基本情報

1. 磁外闸机								
■事業の担当課	保健福祉部份	呆健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係						
■評価事業名称	健康診査実施	建康診査実施事業(後期高齢者分)						
■事業開始年度	平成20年度							
■評価事業コード	040200 - 0	094	■会計区分	一般会	計			
	■政策	01 子育7	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり	
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と地	地域医療	の充	実		
	■施策	■施策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進						
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政策	€・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務					
■法令等の名称	高齢者の医療	景の確保に関	する法律					
■関連計画の名称								
■事 業 の	後期高齢者を目的とする。	医療制度の加。後期高齢者 項目のみで	ロ入者に対して、 6医療制度加入 腹囲を除く)で、	健康診 者に対 健康診	査を行 して、! 査を実	テうことにより、 特定健診と同 :施する。	、健康を保持すること じ内容の検査項目	

2. 細事業の活動実績情報

健康診査実	細石		細事業 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
	01	施事	業(後期	療制度の加入	診査を集団健診及び市内29ヵ所の医療	2,417人受診率18.6%集団健診54日間 実施、個別健診29医療機関実施。【後 期高齢者歯科健診】県歯科医師会委託

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	19,726	19,284	19,768	17,415	
人 件 費	2,375	2,313	2,765	5,229	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	22,101	21,597	22,533	22,644	

4 評価指揮等の共況

	3/7/K 47 07 1/1/1/C					
指標 コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 年間優	建診(集団健診)日数	67日	67日	67日	54日	特定健診の日程と同じ。
02 個別優	建診実施医療機関数	32機関	31機関	30機関	29機関	特定健診実施医療機関と 同じ。
03 健診σ)受診率	23.2%	22.1%	21.7%	18.6%	受診者÷後期高齢者医療 制度加入者数
		•				

06 コスト	7.6-	千円	7.6千円	8千円	9.3千円	フルコスト÷受診者数
5. 事後評価(「政策」	事業類型5・	6のみ)				
┌■目標達成状況		状況の分析			問題点•課題等	F
		も以上の高齢 ることができ		受診する機会を提		
○ A. 順調○ B. 振わ順調						
● B. 概ね順調○ C. 遅れている						
O. 遅れている						
-1. 直接的な受益者の範囲 -		;[─2. 国•県	₹・民間との競行		<u> </u>	
		∥ ○ 類似	以の事業はない	١		
○ 特定されるが多数に及ぶ				が競合はない		
○ ○ 特定少数に限定される		○ 類似	以の事業があり	競合する		
 -3. 事業廃止の影響・貢献度		川 一4. 市民:	生活・企業活動	かの貢献度	 5. 事業原	廃止の影響を受ける受益:
事業の廃止により重大なでする	問題が発生	● 市民	生活•企業活動	動の維持に不可欠	● 1. で	選択した人の大多数(70%
- 9 る 事業の廃止により何らかの 生する				動の維持に一定程	度 ○ 1. で	選択した人の半分程度(5
○ 生する○ 事業の廃止による問題は		() 市民	している 生活・企業活動	動の維持への貢献	度 ○ 1. で	『選択した人の少数(30%程
	感及 C1040.	は低		· /		
-6. 事業へのニーズの変化 -		/. 施策 	の改善需要度	(市民意識調査)・		の優先度(市民意識調査)
● ニーズが高まっている			立が高い		● 順位	
○ ニーズは変わらない		•	立が中程度		~	が中程度
○ ニーズが低下している又	ま合致しない		立が低い		○順位	が低い
- 9. 他市町村に比較しての優位	立性 ———	10. 実施	主体の代替性		11. 経済性	・効率性の向上 ―――
○ 先進的またはユニークな	事業である	● 民間	骨委託等の拡充	とは難しい	⑥ 今以上	の効率化や改善は難しし
● 他と同程度の事業である		│ ○ 民間	骨委託等の拡充	でが十分に可能	○ 効率化	や改善を図ることは十分
○ 遅れている事業である		○ 全部	『委託や実施主	E体の移行が可能	○ 効率化	とや改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目	目2,4の補足説	明含む)		┌■今後の方[う性	
				○ Ⅰ. 拡充	E () Ⅳ. 廃止•休止
				● Ⅱ.継続	_) V. 完了
						, = -

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)	⊢ ■今後の	の方向性 ――		
	○ I.	拡充	○ Ⅳ. 廃止•休止	
	● Ⅱ.	継続	○ V. 完了	
	○ 111.	縮小		

1. 基本情報

1 - 465 YY 1FI HIX								
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 健康係						
■評価事業名称	がん検診推進	がん検診推進事業						
■事業開始年度								
■評価事業コード	040200 - 1	13	■会計区分	一般会計				
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実したほ	明るく健やかなま	まちづくり		
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康	づくりの推進と地	也域医療の	充実			
	■施策	■施策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進						
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		■ 0	汝策・業務区分	政策		
■法令の根拠区分	法令の努力	義務(自治事	務)	•				
■法令等の名称	がん検診推進	事業実施 要	E 綱					
■関連計画の名称								
■事 業 の	各種がん検診 診促進を図る 通知対象者に	の未受診者 とともに、が は全未受診者	がに対して、がんの早期発見だるとはせず、効率	ルに関する 及び正しい を性も考慮し	各発チラシ等を追 健康意識の普及 して様々な分析!	生付し、がん検診の受 な啓発を図る。なお、 により選定する。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 がん検診推進事業	各種がん検診 の未受診者	受診勧奨は実施せず。	受診勧奨は実施せず。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	2,261	2,354	313		
人 件 費	2,593	2,490	2,908	2,806	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,854	4,844	3,221	2,806	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 通知者	延受診率	14.4%	28.8%	41.3%	未実施	延受診者数÷通知者数 ×100
03 単位当	たりコスト	7.19千円	1.96千円	1.22千円	1.68千円	フルコスト:延受診者数

事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

	達成状況の分析	間	∄ 題点∙課題等
■目標達成状況	未実施	 	≋実施
1. 直接的な受益者の範囲		競合関係の有無	
○ 不特定多数に及ぶ	● 類似の事業は	ない	
○ 特定されるが多数に及ぶ	○類似の事業は		
● 特定少数に限定される	○ 類似の事業が	あり競合する	
3. 事業廃止の影響・貢献度			□
○ 事業の廃止により重大な問題が する		活動の維持に不可欠	○ 1. で選択した人の人多数(70%程度) ○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
○ 事業の廃止により何らかの問題 生する	が発 ○ 市民生活・企業 貢献している	活動の維持に一定程度	● 1. で選択した人の少数(30%程度)
● 事業の廃止による問題は想定さ	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	活動の維持への貢献度	9 1. CENOIS/(0) 9 (000/(E)2/
6. 事業へのニーズの変化	────────────────────────────────────	要度(市民意識調査) ——	□
○ ニーズが高まっている	│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │		● 順位が高い
二一ズは変わらない	- ● 順位が中程度		○ 順位が中程度
● 二一ズが低下している又は合致	しない ○順位が低い		○ 順位が低い
9. 他市町村に比較しての優位性 —		替性 —————	→
○ 先進的またはユニークな事業で	ある ⑥ 民間委託等の	拡充は難しい	● 今以上の効率化や改善は難しい
◉ 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の	拡充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施	施主体の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,46	' D補足説明含む)	○ ■ 今後の方向性	
		○ Ⅰ. 拡充	● IV. 廃止•休止
		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	● IV. 焼血・水血○ V. 完了
		○ Ⅲ. 縮小	() V. Æ1

1/2

1. 基本情報

1 - 45 4 1 1 HX							
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課					
■評価事業名称	保健総合シス	、テム改修事	業				
■事業開始年度	平成30年度						
■評価事業コード	040200 - 1	129	■会計区分	一般:	会計		
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	り充実し	た明る	るく健やかなま	ちづくり
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と地	地域医療	気の充	実	
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早	期治療	の推進	
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政策	€・ 業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定	Eめのないも	の				
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の	新規事業に対	対応するため	、保健総合シス	、テムを	更新す	るもの。	

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 保健総合システム改修事業		なし	新型コロナウイルス感染症予防接種事業に対応するため、委託により保健総合システムに新規機能を追加。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費		1,490	1,728	2	
人 件 費			76	894	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		1,490	1,804	896	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5	·6のみ)	
	 成状況の分析	問題点•課題等
A G===	型コロナウイルス感染症予防接種事業に対応 5ため、委託により保健総合システムに新規 能を追加した。	今後も、新規事業がある場合は、システムの改 修が必要である。
─1. 直接的な受益者の範囲 ────	── 2. 国・県・民間との競合関係の有無 ──	1
○ 不特定多数に及ぶ	● 類似の事業はない	
● 特定されるが多数に及ぶ	○ 類似の事業はあるが競合はない	
○ 特定少数に限定される	○ 類似の事業があり競合する	
□ 3. 事業廃止の影響・貢献度 □ 事業の廃止により重大な問題が発生する ● 事業の廃止により何らかの問題が発生する □ 事業の廃止による問題は想定されない。	4. 市民生活・企業活動への貢献度	○ 1 で選択した人の少数(30%程度)
- -6. 事業へのニーズの変化	──7. 施策の改善需要度(市民意識調査) =	
○ ニーズが高まっている	│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │	⑥ 順位が高い
◉ ニーズは変わらない	● 順位が中程度	○順位が中程度
○ ニーズが低下している又は合致しない	○ 順位が低い	○ 順位が低い
 	 −10. 実施主体の代替性	
○ 先進的またはユニークな事業である	● 民間委託等の拡充は難しい	● 今以上の効率化や改善は難しい
● 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施主体の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足	説明含む)	性

1. 基本情報

1. 本个門和				_			
■事業の担当課	保健福祉部健康増進課 ■担当係 成人保健係						
■評価事業名称	集団健康教育	育事業(一般))				
■事業開始年度	平成3年度						
■評価事業コード	040200 - 2	253	■会計区分	一般会	計		
	■政策	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかれ				るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での	■基本施策	03 健康1	づくりの推進と地	也域医療	の充	実	
	■施策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進						
■事業の類型	05 ソフト事	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策					政策
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務	·			
■法令等の名称	健康増進法						
■関連計画の名称	国保データーヘルス計画 北上市健康づくりプラン 北上市障がい者プラン						
■事 業 の							

2. 細事業の活動実績情報

細車コー		細事業 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	集団(育事)	建康教 業(一	一般市民	一般健康教育または病態別健康教育実施予定。 卒煙アシスト講座実施予定。	健康教育開催回数12回、179人。(コロナで出前講座中止が多く減となった。) 卒煙アシスト講座は2回実施し、延ペ7 人参加。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	1,087	752	714	666	
人 件 費	4,328	1,098	2,732	2,573	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,415	1,850	3,446	3,239	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 参加人	数1人あたりコスト	3,570円	1,359円	2,169円	18,095円	フルコスト/開催回数
02 教室参	加者数(人/回)	21.4人	18.9人	23.7人	14.9人	開催回数、参加者数
03 開催回	数1回あたりコスト	76,268円	25,694円	51,433円	269,917円	フルコスト/開催回数

5. 事後評価(「政策」事業類型	望5・6のみ)		
一■目標達成状況 ————————————————————————————————————	達成状況の分析 新型コロナウイルス感染症拡 がら、国保データヘルス計画) ノに沿い、おおむね順調に実 る。	大防止を考慮しな 及び健康づくりブラ 施できていると考え	問題点・課題等 今後も新型コロナウイルス感染症拡大に注意しながら、教室参加者数増加を目指して、実施方法の工夫や周知方法に工夫が必要である。
. 直接的な受益者の範囲	────────────────────────────────────	合関係の有無	
○ 不特定多数に及ぶ	○ 類似の事業はな	l)	
◉ 特定されるが多数に及ぶ	● 類似の事業はあ	るが競合はない	
特定少数に限定される	○ 類似の事業があ	り競合する	
. 事業廃止の影響・貢献度		動への貢献度 -	 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 -
事業の廃止により重大な問題が発生 する	É	動の維持に不可欠	● 1. で選択した人の大多数(70%程度)
する 事業の廃止により何らかの問題が発 生する		動の維持に一定程度	· -
~ 生する ○ 事業の廃止による問題は想定されな	□ ○ 古足上汗,企業汗	動の維持への貢献度	○ 1. で選択した人の少数(30%程度)
. 事業へのニーズの変化		度(市民意識調査) 一	
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い		◉ 順位が高い
◉ ニーズは変わらない	◉ 順位が中程度		○ 順位が中程度
○ ニーズが低下している又は合致しな	い 回位が低い		○ 順位が低い
. 他市町村に比較しての優位性 ――	'- 10. 実施主体の代替	生 ————	
先進的またはユニークな事業である	● 民間委託等の拡	充は難しい	○ 今以上の効率化や改善は難しい
◉ 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡	充が十分に可能	● 効率化や改善を図ることは十分に可能
─ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施	主体の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい
事業の見直し方策(評価項目2,4の補		┌■今後の方向	性
E活習慣病予防や健康維持・増進のた& ため、今後も継続して取り組むことが必		○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止

-■ 今後の方向性	·	
Ⅰ. 拡充● Ⅱ. 継続	IV. 廃止·休止○ V. 完了	
○ Ⅲ. 縮小	○ V.Æ1	

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課 ■担当係 成人保健係					
■評価事業名称	集団健康教育	事業(国保)			
■事業開始年度	平成3年度					
■評価事業コード	040200 - 2	254	■会計区分	国民健康	保険特別会計	
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実した明	月るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での	■基本施策	03 健康	づくりの推進と地	地域医療の	充実	
	■施策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進					
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)		■耳	対策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務	•		
■法令等の名称	健康増進法					
■関連計画の名称	国保データー	国保データーヘルス計画 北上市健康づくりプラン				
■事 業 の	自らの生活を見直し、健康増進を図る。生活習慣病予防、健康増進等に関し講演会及び 実技指導を実施					

2. 細事業の活動実績情報

細事コー	細事業 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	団健康教 事業(国	一般市民	一般健康教育または病態別健康教育実 施予定。	健康教育開催回数12回、179人。(コロナで出前講座中止が多く減となった。) 卒煙アシスト講座は2回実施し、延べ7人参加。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	80	117	20	80	
人 件 費	790	2,942	1,360	1,306	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	870	3,059	1,380	1,386	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 参加人	数1人あたりコスト	574円	2,247円	868円	7743円	フルコスト/参加人数
02 開催回	数1回当たりコスト	12,254円	42,486円	20,597円	115,500円	フルコスト/開催回数
03 教室参	加者数(人/回)	21.4人	18.9人	23.7人	14.9人	開催回数、参加者数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)							
┌■目標達成状況 	達成状況の分析		問題点·課題等				
	新型コロナウイルス感染症拡がら、国保データヘルス計画及 とに沿い、おおむね順調に実施	とび健康づくりプラ	今後も新型コロナウイルス感染症拡大に注意しながら、教室参加者数増加を目指して、実施方法の工夫や周知方法に工夫が必要である。				
● B. 概ね順調	る 。						
○ C. 遅れている							
. 直接的な受益者の範囲		合関係の有無 ――					
○ 不特定多数に及ぶ	○ 類似の事業はない	.1					
● 特定されるが多数に及ぶ	● 類似の事業はある						
○ 特定少数に限定される	○類似の事業があり						
3. 事業廃止の影響・貢献度 ――――		動への貢献度 -	5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合 - 				
○ 事業の廃止により重大な問題が発生 する	生 ● 市民生活・企業活	動の維持に不可欠	● 1. で選択した人の大多数(70%程度)				
事業の廃止により何らかの問題が多生する	発 ○ 市民生活・企業活 貢献している	動の維持に一定程原					
〜 生する	□ ○ 士兄出任. △ 業任	動の維持への貢献原	(ままり) (1. で選択した人の少数(30%程度) (2. で選択した人の少数(30%程度) (3. できまた) (3. できまた) (3. できまた) (3. できまた) (3. できまた) (4. できまた)				
5. 事業へのニーズの変化 ――――		度(市民意識調査) =					
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い		◉ 順位が高い				
◉ ニーズは変わらない	● 順位が中程度		○ 順位が中程度				
○ ニーズが低下している又は合致しな	い 回位が低い		○ 順位が低い				
). 他市町村に比較しての優位性 ――	 10. 実施主体の代替性	±					
○ 先進的またはユニークな事業である	る ● 民間委託等の拡き	充は難しい	○ 今以上の効率化や改善は難しい				
◉ 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡	充が十分に可能	⑥ 効率化や改善を図ることは十分に可能				
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施:	主体の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい				
■事業の見直し方策(評価項目2,4の補	 足説明含む)						
E活習慣病予防や健康維持・増進のた るため、今後も継続して取り組むことが。		○ Ⅰ. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止				
		O T. 1)A)L	O 14 . DET PRIL				

■今後の方向性			
○ I. 拡充 ○ IV. 廃止・休止 ● II. 継続 ○ V. 完了	- ■今後の方向性		_
■ I. 継続V. 完了	_ ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		l
9	0	○Ⅳ.廃止・休止	ı
○ Ⅲ. 縮小	⑥ Ⅱ.継続	○ Ⅴ. 完了	ı
	○ Ⅲ. 縮小		l

1. 基本情報

1. 本个門和				_				
■事業の担当課	保健福祉部優	保健福祉部健康増進課 ■担当係 成人保健係						
■評価事業名称	健康相談事業	健康相談事業						
■事業開始年度	平成3年度							
■評価事業コード	040200 - 2	255	■会計区分	一般会	計			
	■政策	■政策 01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり						
■総合計画での	■基本施策	6 03 健康づくりの推進と地域医療の充実						
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期	明治療	の推進		
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政策	策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務					
■法令等の名称	健康増進法							
■関連計画の名称	国保データー	ヘルス計画		北上ī	市健身	う づくりプラン		
■事 業 の■目的と概要	市民が自身のを実施する。)健康管理を	- 行なうことがで	きるよう	、本力	、や家族の健原	東に関する健康相談	

2. 細事業の活動実績情報

細事		事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01	健康相談事業	一般市民	健康管理センター・江釣子保健センター 健康相談、地区健康相談実施予定。	地区健康相談 開催回数5回、参加者 数256人(延べ)、センター相談 115人、 その他の相談 12回 30名 合計 16 回、401名(延べ)

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	325	319	334	317	
人 件 費	4,790	1,866	1,512	3,988	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,115	2,185	1,846	4,305	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 総合健	康相談者数	1,737人	1,559人	1,475人	401人	延参加者数
02 総合1/	人あたりコスト	2,945円	1,303円	1,252円	10,736円	フルコスト/実績値(人)

5. 事後評価(「政策」事業類	型5・6のみ)		
□■ 目標達成状況 	達成状況の分析		問題点・課題等
→ 日標達成状況	新型コロナウイルス感染症のの健康相談や健康まつりの多 ベントの中で実施する健康相	くが中止となり、イ	保健センターとしての相談場所が、hoKko一か所になったので、市民が安心して相談できるよう、相談環境をエ夫し、確保する必要がある。
● B. 概ね順調	た。実績は減少してはいるが、沿って事業を実施している。	関係するプランに	1日以来先とエスし、唯体する必要がある。
○ C. 遅れている	/ ログで事業を大心している。		
. 直接的な受益者の範囲 ――――		合関係の有無	
● 不特定多数に及ぶ	○ 類似の事業はな	ι\	
○ 特定されるが多数に及ぶ	● 類似の事業はあ	るが競合はない	
特定少数に限定される	○ 類似の事業があ	り競合する	
. 事業廃止の影響・貢献度 ―――		動への貢献度 -	
事業の廃止により重大な問題が発 する	生 市民生活・企業活	動の維持に不可欠	● 1. で選択した人の大多数(70%程度)
事業の廃止により何らかの問題が 生する		動の維持に一定程度	•
ッ 生する ○ 事業の廃止による問題は想定され	□ ○ 士兄仕ば、○ ***	動の維持への貢献的	□ ○ 1. で選択した人の少数(30%程度)
. 事業へのニーズの変化		度(市民意識調査) =	
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い		◉ 順位が高い
◉ ニーズは変わらない	● 順位が中程度		○ 順位が中程度
) ニーズが低下している又は合致し	ない 回位が低い		○順位が低い
. 他市町村に比較しての優位性 ――	 10. 実施主体の代替	性 ———	
─ 先進的またはユニークな事業であ	る 民間委託等の拡	充は難しい	● 今以上の効率化や改善は難しい
◉ 他と同程度の事業である	● 民間委託等の拡	充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
) 遅れている事業である	○ 全部委託や実施	主体の移行が可能	○ 効率化や改善の余地が大きい
事業の見直し方策(評価項目2,4の	' 補足説明含む)	┌■今後の方向	1性
ī民の健康維持・増進のため必要な事 『がある。	¥であり、今後も継続する必	,	
		○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止

·■今後の方向性		
_ /,2,,,,,,,		
○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止	
● Ⅱ. 継続	○ V. 完了	
○ Ⅲ. 縮小		

1 基本権級

1. 本个門和				_				
■事業の担当課	保健福祉部份	保健福祉部健康増進課 ■担当係 成人保健係						
■評価事業名称	成人訪問指導	成人訪問指導事業(一般)						
■事業開始年度								
■評価事業コード	040200 - 2	256	■会計区分	一般会	計			
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり	
■総合計画での	■基本施策	03 健康1	づくりの推進とり	也域医療	の充	実		
	■施策 02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進							
■事業の類型	05 ソフト事	業(任意)			■政绩	策·業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に定めば	はあるが任意	の自治事務					
■法令等の名称	健康増進法第	917条						
■関連計画の名称	計画の名称 国保データーヘルス計画 北上市健康づくりプラン							
■事 業 の	市民自らが倒士による訪問		理することがで	きる。保	健師	、看護師、、管	理栄養士、歯科衛生	

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 成人訪問指導事業(一般)	市民	訪問実数400人	訪問延数193人訪問実数183人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	81	68	91	68	
人 件 費	2,011	1,328	1,055	1,380	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,092	1,396	1,146	1,448	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明
01 要指導	者訪問実人数	445人	494人	181人	183人	要指導者訪問の実人数
02 年間1人	、当たりコスト	4,702円	2,826円	6,331円	7912円	フルコスト/実人数
03 1人1回	当たりコスト	2,910円	2,590円	5,730円	7502円	フルコスト/延人数

事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

┌■目標達成状況 ───── [[レセプトや健診結果をもとに、より緊急度の高い	問題点・課題等 医療知識や訪問スキルが必要とされ、人材が確 呆できないと事業実施が難しい。
-1. 直接的な受益者の範囲	2. 国・県・民間との競合関係の有無	
○ 不特定多数に及ぶ	● 類似の事業はない	
● 特定されるが多数に及ぶ	○ 類似の事業はあるが競合はない	
○ 特定少数に限定される	○ 類似の事業があり競合する	
-3. 事業廃止の影響・貢献度		
○ 事業の廃止により重大な問題が発生 する	生 市民生活・企業活動の維持に不可欠	○ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
・事業の廃止により何らかの問題が多生する ○ 事業の廃止による問題は想定された	● 市民生活・企業活動の維持に一定程度 貢献している	○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度) ● 1. で選択した人の少数(30%程度)

一6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ⑥ ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない
- 7. 施策の改善需要度(市民意識調査) =
- 順位が高い 順位が中程度
- 順位が低い

◉ 順位が高い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が中程度
- 順位が低い

- 一9. 他市町村に比較しての優位性
- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である
- -10. 実施主体の代替性
- ⊚ 民間委託等の拡充は難しい ○ 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能
- 11. 経済性・効率性の向上・
- ⊚ 今以上の効率化や改善は難しい ○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

特定健診結果に基づく受診動奨訪問は、レセブトや健診結果、過去の訪問記録等から対象者を抽出している。令和元年度より対象者 抽出基準を見直し対象者数が大幅に減少したが、より緊急度の高 い者へ訪問実施できているため、今後も対象者の傾向を見ながら 抽出条件の見直しを図る。受益者割合の上昇と、効果が上がるよう に企画する。

今			

- I. 拡充
- I.継続
- IV. 廃止・休止
- Ⅲ. 縮小
- V. 完了

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課 ■担			■担当係	成人保健係	
■評価事業名称	糖尿病性腎症	糖尿病性腎症重症化予防事業				
■事業開始年度	令和2年度					
■評価事業コード	040200 - 3	310	■会計区分	国民健康倪	R 険特別会計	
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実した明	るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での ■位 置 づ け	■基本施策	6 03 健康づくりの推進と地域医療の充実				
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進				
■事業の類型	05 ソフト事	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策				
■法令の根拠区分	法令に特に定	≧めのないも	の	•		
■法令等の名称						
■関連計画の名称	北上市国民健康保険保健事業実施計画(国保データヘルス計画)					
■事 業 の	業の は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では					重症化するリスクの高

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 糖尿症事	病性腎症化予業	糖化高未療尿療す医療病の関係では、一般では、受性病の原素を動物でする、一般では、大きないのでは、まないのでは、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが、これが	【医療機関未受診者・治療中断者】通知及び訪問や電話による受診勧奨を行う。【治療中ハイリスク者】医師が保健情導が必要と判断し本人の同意が取れた者に対して、面接及び電話・手紙による保健指導を6か月間行う。	【医療機関未受診者・治療中断者】・未受診者9名→受診者5名、治療中断者10名→受診者3名【治療中ハイリスク者】対象者100名→指導プログラム申込者5名→完了者2名

3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				1,727	
人 件 費				2,831	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				4,558	

4. 評価指標等の状況

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)	キルが 事業実 ラム参
□ 日標準版がが ○ A. 順調 ○ B. 概ね順調 ○ C. 遅れている ○ C. 遅れている 【医療機関未受診者・治療中断者】訪問や電話による受診勧奨を行うことで、対象者へ健康と治療の更悪性についての意識づけや行動改善ができた。 【医療機関未受診者・治療中断者】訪問や電話による受診勧奨について、医療知識や訪問お、必要とされるため、人材が確保できないと、 「治療中ハイリスク者】6か月間の保健指導を受けることで、対象者の糖尿病の知識が深まり、生活習慣改善についての意識づけや行動改善ができた。 【医療機関未受診者・治療中断者】訪問や電話による受診動型について、医療知識や訪問や変とされるため、人材が確保できないと流が出来ている。 「治療中ハイリスク者】プログ・流が発生しい。【治療中ハイリスク者】プログ・流を望する者が少なく、6か月間保健指できず脱落する場合がある。	得を報
直接的な受益者の範囲	
対内に多数に及ぶ対定されるが多数に及ぶ対性の事業はあるが競合はない対性の事業があり競合する	
事業の廃止により回らかの問題が発生する 事業の廃止により何らかの問題が発生する 事業の廃止により同らかの問題が発生する 事業の廃止により何らかの問題が発生する 事業の廃止による問題は想定されない 事業の廃止による問題は想定されない	呈度) %程度)
 事業へのニーズの変化 一スが高まっている 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人では変わらない 一人ではない 一人では変わらない 一人ではない 一般にない 一般にない 	
. 他市町村に比較しての優位性 10. 実施主体の代替性 11. 経済性・効率性の向上 11. 経済性・効率性の向上 6. 実施主体の代替性 6. 民間委託等の拡充は難しい 6. 今以上の効率化や改善は難しい 6. 対率化や改善を図ることは十分に可能 7. アルス事業である 6. 全部委託や実施主体の移行が可能 7. 対率化や改善の全地が大きい 7. 対率化 7	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

医療機関未受診者・治療中断者について、受診勧奨をしても金銭的な理由で受診できない者もいるため、そのような対象者への対応について検討が必要。治療中ハイリスク者については、民間委託し事業を開始したところのため、有効活用に向けて事業周知を工夫する。

○ I. 拡充

○ IV. 廃止・休止

■ I.継続

○ V. 完了

○ Ⅲ. 縮小

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課			■担:	当係	医療連携係	
■評価事業名称	新型コロナウ	新型コロナウイルス感染症対策事業(健康増進課)					
■事業開始年度							
■評価事業コード	040200 - 3	313	■会計区分	一般:	会計		
	■政策	01 子育7	てと医療・福祉の	の充実し	た明る	るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での	■基本施策	03 健康1	03 健康づくりの推進と地域医療の充実				
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進					
■事業の類型	05 ソフト事	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策					政策
■法令の根拠区分	(未入力)						
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の	事業の 目的と概要 市対策本部の運営及び市の感染症対策の周知のために必要な物品等の調達。各種保健事業実施時に必要な感染対策用物品等の調達。庁舎等に配置する感染対策用物品等の調達。						

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 新型コロナウ イルス感染症 対策事業(健 康増進課)			新型コロナウイルス感染症対策に必要な衛生用品の購入費、消耗品購入費、 通信運搬費

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費				8,107	
人 件 費				969	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト				9,076	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[令和2年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ □ 描 法 改 化 汀	達成状況の分析	門	問題点·課題等
■目標達成状況	・事業完了		
1. 直接的な受益者の範囲 ――――	────────────────────────────────────	・	
○ 不特定多数に及ぶ	○類似の事業はな		
特定されるが多数に及ぶ特定の数に限定される。	○類似の事業はあ		
○ 特定少数に限定される	● 類似の事業があ	り既合する	
-3. 事業廃止の影響・貢献度		動への貢献度 ―	→
○ 事業の廃止により重大な問題が多 する	性 ○ 市民生活·企業活	動の維持に不可欠	○ 1. で選択した人の大多数(70%程度)
	O + - + + + + + + + + + + + + + + + + +	動の維持に一定程度	○ 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
事業の廃止により何らかの問題か 生する ● 事業の廃止による問題は想定され	□ □ 市民生活。企業日	動の維持への貢献度	● 1. で選択した人の少数(30%程度)
6. 事業へのニーズの変化	──── ─── _─ ──7. 施策の改善需要	度(市民意識調査)	 ────8. 施策の優先度(市民意識調査) ─────
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い		○ 順位が高い
二一ズは変わらない	- ● 順位が中程度		○順位が中程度
◉ ニーズが低下している又は合致し	ない		○ 順位が低い
-9. 他市町村に比較しての優位性	 	性 ————	→
○ 先進的またはユニークな事業であ	る ● 民間委託等の拡	充は難しい	○ 今以上の効率化や改善は難しい
◉ 他と同程度の事業である	○ 民間委託等の拡	充が十分に可能	○ 効率化や改善を図ることは十分に可能
○ 遅れている事業である	○ 全部委託や実施	主体の移行が可能	● 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策(評価項目2,4の	'! 補足説明含む)	┌■今後の方向性	
		○ Ⅰ. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止
		○Ⅱ.継続	⑥ Ⅴ. 完了
		○ Ⅲ. 縮小	

1 基本情報

1. 本个情報				_		
■事業の担当課	保健福祉部国保年金課 ■担当係 国保係					
■評価事業名称	人間ドック受詞	诊料助成 事	業			
■事業開始年度	平成28年度					
■評価事業コード	040100 - 0	140100 - 015 ■会計区分 国民健康保険特別会計				
	■政策	01 子育	てと医療・福祉の	の充実した明	るく健やかなま	きちづくり
■総合計画での	■基本施策	03 健康	づくりの推進とサ	也域医療の充	実	
	■施策	02 病気(の予防、早期発	見、早期治療	寮の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策			政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定	どめのないも	の			
■法令等の名称	北上市国民優	建康保険人間	引ドック受診料助	力成事業実施	要綱	
■関連計画の名称	北上市国民優	建康保険保優	建事業実施計画	İ		
■事 業 の			療に努めること 人間ドックを受記			維持するとともに、療 の助成。

2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	令和 2 年度事業計画	令和 2 年度事業量実績
01 人間ドック受	19歳以上の国	受診者数(人間ドック250人)支給総額	受診者数(人間ドック184人)支給総額
診料助成金	保被保険者	5,000千円【当初予算額】	3,653,000円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	備考
直接事業費	5,055	4,994	4,634	3,653	
人 件 費	1,831	2,613	2,668	2,608	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	6,886	7,607	7,302	6,261	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	29年度	30年度	1年度	2年度	指標の説明	
01 人間ドッ数	ッグ及び脳ドッグの件	254	251人	232	184	各年度の人間ドックと脳ドック(27年度まで)の受診件数	
						である。目標値は前年度実 績値の5%増とした。	
03 保険給	付費の伸び	356,472	306,234	313,552	309,862	当該年度保険給付費(費用 額)/当該年度末被保険者	
			-	•	-	(被保険者一人当たりの保 険給付費(費用額))	

□■ 目標達成状況 	達成状況の分析	問題点・課題等		
● A. 順調○ B. 概ね順調○ C. 遅れている	疾病の早期発見・早期治療を促すとともに、市民 の健康意識を高め、健やかな市民生活の維持に 繋がっている。	特定健診未受診者に対してより一層の周知に努め、特定健診及び人間ドックの受診率の向上を 図らなければならない。		
-1. 直接的な受益者の範囲	────────────────────────────────────			
○ 不特定多数に及ぶ	○ 類似の事業はない			
○ 特定されるが多数に及ぶ	● 類似の事業はあるが競合はない			
◉ 特定少数に限定される	○ 類似の事業があり競合する			
-3. 事業廃止の影響・貢献度 - 事業の廃止により重大な問題がまする - 事業の廃止により何らかの問題が生する - 事業の廃止により何らかの問題がまする - 事業の廃止による問題は想定され	が発 ● 市民生活・企業活動の維持に一定程 貢献している 市民生活・企業活動の維持への貢献	□ (20%程度		
-6. 事業へのニーズの変化				
○ ニーズが高まっている	○ 順位が高い	◉ 順位が高い		
⊚ ニーズは変わらない	● 順位が中程度	○ 順位が中程度		
○ ニーズが低下している又は合致し	ない ○ 順位が低い	○ 順位が低い		

-10. 実施主体の代替性 -

⑥ 民間委託等の拡充は難しい

○ 民間委託等の拡充が十分に可能

○ 全部委託や実施主体の移行が可能

一9. 他市町村に比較しての優位性 -○ 先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

○ 遅れている事業である

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む) 被用者保険でも同様の事業を実施していること、生活習慣病の早期 発見及び治療につながることから、今後も事業を継続実施する。

┌■今後の方向性		_ _
○ I. 拡充	○ Ⅳ. 廃止・休止	
● II.継続	○ V. 完了	
○ Ⅲ. 縮小		

711. 経済性・効率性の向上 -

⑥ 今以上の効率化や改善は難しい

○ 効率化や改善の余地が大きい

○ 効率化や改善を図ることは十分に可能